

# 誰もが安心して暮らし続けられる

このたび、令和6(2024)年度からの5年間を計画期間とする第六期長期計画・調整計画を策定しました。本計画は、令和2(2020)年度からスタートした第六期長期計画における市政運営の基本理念及び施策の大綱を前提に策定し、長期計画策定時からの社会状況の変化や市政の課題などに的確に対応するため、必要な見直しを行ったものであり、武蔵野市自治基本条例施行後に初めて策定した調整計画となります。本市がこれまで培ってきた市民参加・議員参加・職員参加による「武蔵野市方式」と呼ばれる策定方式を継承し、市内在住の市民で構成する策定委員会を中心に、約2年間にわたる検討を行い策定しました。

第六期長期計画の策定後、新型コロナウイルス感染症が拡大し、小中学校の長期にわたる臨時休校や緊急事態宣言発出に伴う不要不急の外出制限、飲食店等の

営業の自粛要請のほか、ソーシャルディスタンスの確保等が要請されるなど、市民生活や地域経済に大きな変化をもたらしました。また、対面での活動が制限され、インターネットを介しての会話や会合が多く行われるなど、地域のコミュニティ活動にも大きな影響を及ぼしました。このような状況の中、本計画の策定においては、対面だけでなくオンラインによるワークショップや市民意見交換会を実施したほか、策定委員会のオンライン傍聴を可能にするなど、コロナ禍においても様々な工夫により、しっかりと市民の意見を聴くことができました。また、中高生世代によるワークショップや策定委員との意見交換を行うなど、子どもの意見や視点も大切に策定したことも特徴です。

本年1月1日には、石川県能登半島沖を震源とする最大震度7の大地震が発生し、甚大な被害がまし

# 魅力と活力があふれるまちへ

た。お亡くなりになった方々に対して哀悼の意を表しますとともに、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。また、近年の世界的な気候変動がもたらす豪雨災害など、私たちの日常を一変してしまうような災害が発生しています。自然災害の怖さを改めて知るとともに、命の大切さや災害への備えの必要性を再認識しました。全ての施策は、市民の生命や財産が守られたうえにあるものです。まずは全市民の安全・安心を守るという市長としての責務を果たし、調整計画を軸とした総合的・計画的な市政運営により、「誰もが安心して暮らし続けられる 魅力と活力があふれるまち」を目指してまいります。

結びに、本調整計画の策定にご尽力いただいた長期計画・調整計画策定委員の皆さま、ご意見・ご提案をお寄せいただいた市民の皆さまや関係の方々に

は、心より感謝申し上げます。本計画を実行するにあたり、引き続き皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。ともに助け合い励まし合う日本一のまちを築いてまいりましょう。

令和6(2024)年3月

武蔵野市長  
**小美濃安弘**

